

第2回 柏崎市新庁舎建設検討委員会

検討資料

目次

1. 全体の検討の流れと、第2回（本日）の検討事項	2
2. 市民アンケート等から見えてくるもの	3
(1) 新庁舎の基本理念および基本方針に関する市民意向	
(2) 新庁舎の基本機能に関する市民意向・職員意向	
3. 基本理念・基本方針	5
(1) 新庁舎の基本理念（案）	
(2) 新庁舎建設の基本方針（案）	
(3) 新庁舎の基本機能（案）	
4. 周辺地域（中心的市街地）の状況（補足）	9
(1) 町丁別の人口および、グロス人口密度	
(2) 町丁別の人口および、ネット人口密度	
(3) 空閑地	
(4) 周辺のバス交通の状況	
(5) 魅力施設・魅力空間	
(6) 周辺において、市民交流空間をもつ施設	
(7) 周辺において、ランチを提供する店舗	

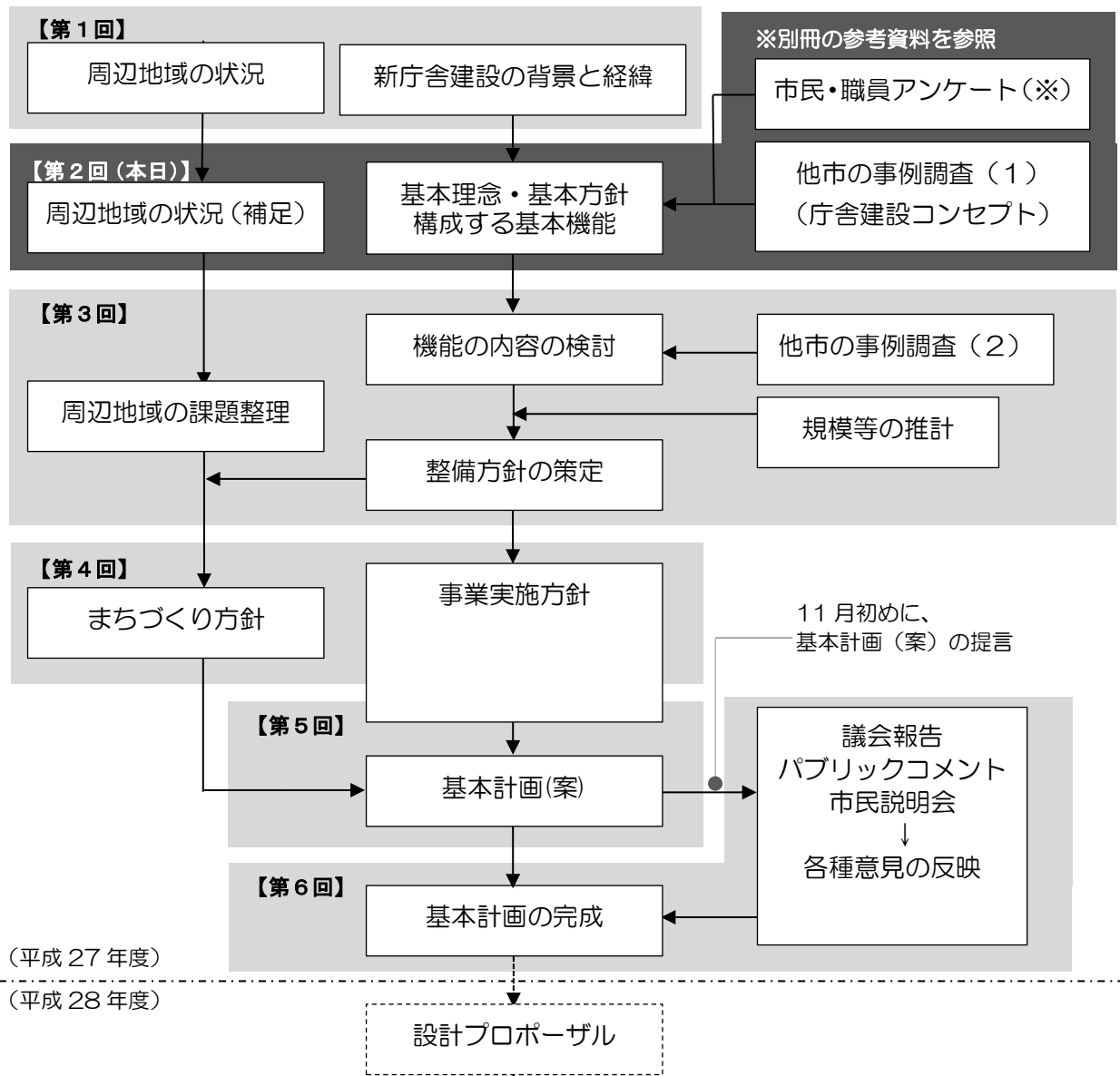
1. 全体の検討の流れと、第2回（本日）の検討事項

○本検討委員会は、日石町に新庁舎を建設するにあたり、基本理念・基本方針、機能等、整備方針、事業実施方針などを検討し、基本計画(案)を作成することを目的とする。

基本計画の構成要素（案）

<p><u>1 基本計画策定の背景と経緯</u></p> <p>(1) 庁舎の現状と課題</p> <p>(2) これまでの経緯</p> <p>(3) 基本計画の位置付け</p> <p><u>2 新庁舎の目指すべき姿</u></p> <p>(1) 基本理念</p> <p>(2) 基本方針</p> <p><u>3 新庁舎の整備方針</u></p> <p>(1) 求められる機能</p> <p>(2) 新庁舎の規模</p> <p>(3) 機能の配置</p>	<p><u>4 事業計画</u></p> <p>(1) 事業手法</p> <p>(2) 発注方式</p> <p>(3) 概算事業費</p> <p>(4) 財源計画</p> <p>(5) 事業スケジュール</p> <p><u>5 新庁舎建設に伴うまちづくりの方針</u></p> <p>(1) 中心市街地の方向性</p> <p>(2) 新庁舎周辺地域のあり方</p> <p>(3) 現庁舎跡地の利活用</p>
--	---

○以下に、全体の検討の流れと、第2回(本日)の検討事項を示す。



2. 市民アンケート等から見てくるもの

(1) 新庁舎の基本理念および基本方針に関する市民意向

新庁舎周辺のまちづくりに関すること

【交通について】

- ・駅が近く、電車・バス利用が便利。市役所前に必ず停車
- ・国道8号線からのアクセスを検討
- ・駅やバスターミナルからの連絡通路の整備
- ・自転車道路の整備

【公共機関について】

- ・公共の建物や国・県の出先機関の集約、集中(官庁ゾーン)
- ・来庁者の次の目的を考えたまちづくり(郵便局や銀行)

【商業について】

- ・スーパーやコンビニの出店
- ・朝市や市場の開設
- ・電車・バス利用者が待ち時間を過ごすスペース

【観光について】

- ・観光案内所や物産館、観光名所のPR
- ・石油、機械産業で発展した柏崎の歴史のPR
- ・市民、観光客が楽しめる催事の開催

【まちづくりについて】

- ・コンパクトなまちづくり(駅周辺ですべての用が足せる)
- ・柏崎駅周辺の活性化
- ・バスターミナル、タクシー乗り場の整備

【交流の場について】

- ・緑のある公園
- ・親子連れや高齢者が休憩したり、遊べる施設
- ・屋根付きの子どもの遊び場
- ・ランニングやウォーキングができるコース

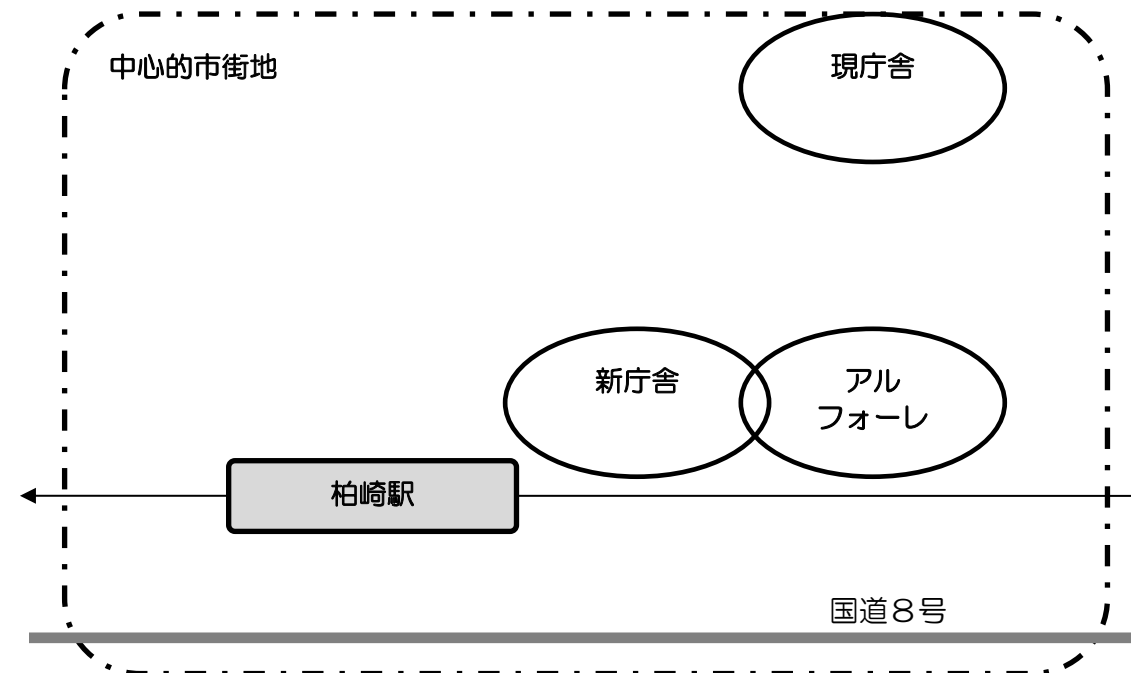
現庁舎・跡地(中央町)の活用に関すること

【施設について】

- ・子育て支援施設
- ・全天候対応の屋外スポーツ施設
- ・産業交流施設(例:ハイブ長岡、ときメッセ)
- ・総合病院
- ・健康支援施設(健康づくり支援店の食事提供、エクササイズ教室)
- ・公営住宅
- ・老人ホーム等、福祉関連施設
- ・商業施設の誘致
- ・映画館や娯楽施設

【土地について】

- ・空地公園(災害時の避難場所)
- ・駐車場
- ・住宅地として活用
- ・民間へ売却(民間業者のアイデアを活用)



新庁舎(日石町)に関すること

【新庁舎建設について】

- ・柏崎市のシンボルとなるような機能
- ・地震に強い建物
- ・市民のことを考えた庁舎に期待(広くて、便利、わかりやすい)
- ・分散された庁舎の改善(高齢者・乳幼児に不便なつくりの解消)
- ・柏崎の活性化の原動力として期待
- ・柏崎及び県内の資源を活かした設計や施設整備を希望(新庁舎建設を地産地消、市民総参加型で)
- ・市民への説明や意見交換が必要

【外観・景観について】

- ・機能的で清潔なイメージを希望
- ・塩害に強い建物、季節風を考えた駐車場

【建設地(位置)について】

- ・駅、バスターミナルが近く、利用しやすい(市民の行きやすさ)
- ・市役所が、アルフォーレやブルボン本社と連動し市の活性化拠点となるよう期待
- ・過去の水害エリアで、地盤が悪く安全面が心配

【建設の仕方について】

- ・複合施設
- ・上階にマンション(公営住宅ではない)
- ・分散している保健所、税務署他を集約

【建設費について】

- ・建設・維持管理コストの抑制
- ・エコ機能の導入によるランニングコストの抑制(太陽光発電、LED照明、地中熱利用、風力発電)

市民不満) 庁舎が分散し不便(43%)
 市民不満) 行きたい部署が不明(30)
 市民重視) 目的地が分かりやすい配置を(44)

市民重視) コストのかからない建物(21%)
 市民重視) 市街地活性化に寄与するよう(13)
 市民重視) 地球環境にやさしい建物(12)

(2) 新庁舎の基本機能に関する市民意向・職員意向

行政運営に関すること

- 【職員の現在の執務スペース】
 - 広い・やや広い(8%)
 - 適当(33)
 - 狭い・やや狭い(60)
- 【職員の現在の会議室の利用】
 - 10人以下(70%)
 - 11~20人(35)
 - 21~50人(14)
 - 51人以上(2)
- 【本庁舎以外の会議室の利用】
 - 市民プラザ(43%)
 - 図書館(27)
 - アルフォーレ(15)
 - 産業文化会館(12)
 - 元気館(11)

- 【職員向けのサービス】
 - 職員必要) 所属ごとの打合スペース(56%)
 - 職員必要) 充実した休憩スペース(40)
 - 職員必要) 飲食スペース(38)
 - 職員必要) 昼食スペース(37)
 - 職員必要) フロアごとの更衣室(20)

交通に関すること

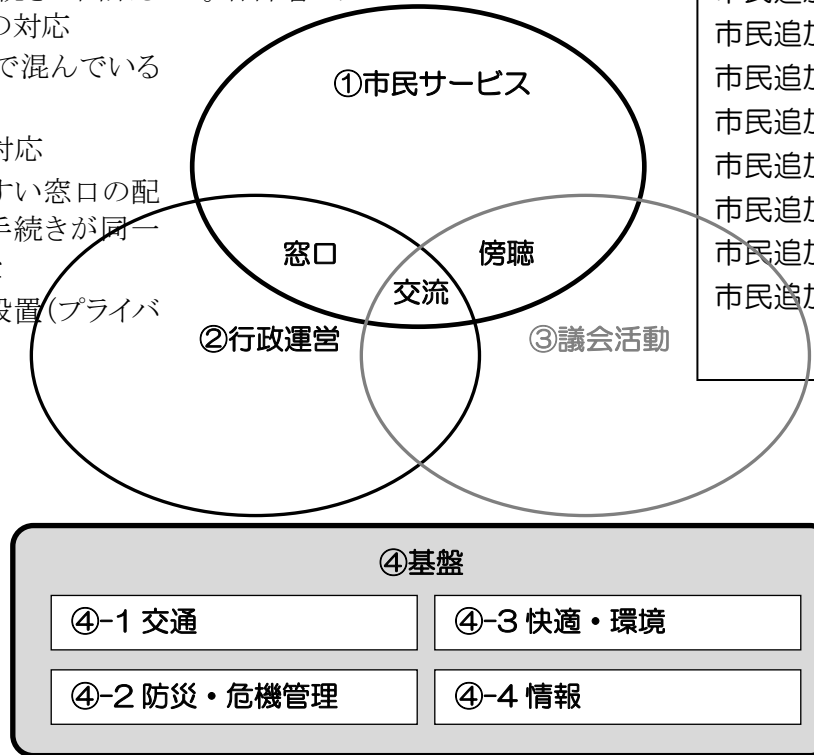
- 【来庁者用の駐車場・駐輪場】
 - 市民不満) 駐車場・駐輪場が不足(56%)
 - 市民重視) 十分な駐車場・駐輪場を(53)
 - 職員必要) 駐車場・駐輪場の確保(50)
 - 【職員用の駐車場】
 - 職員必要) 駐車場・駐輪場の確保(70)
- 市民不満) 公共交通が不便(12%)

- ・国道8号線、駅からのアクセスを良くする工夫
- ・駅からの交通手段
- ・駐車場から庁舎に至るまでの通路に雨除けがあること
- ・JR柏崎駅、バスターミナルとの連携。冬季の通路確保

窓口に関すること

- 市民不満) 一つの窓口で用件が済まず(26%)
- 市民重視) 窓口での楽な手続きを(46)
- 市民追加) 分かりやすい総合案内(54)
- 職員必要) 総合窓口化(43)
- 職員必要) 分かりやすい総合案内(35)

- ・一つの窓口で手続きが出来ること。各部署より職員が出向いての対応
- ・近くの部署同士で混んでいる窓口の対応
- ・時間延長、休日対応
- ・市民にわかりやすい窓口の配置、案内表示。手続きが同一フロアでできること
- ・窓口にブースを設置(プライバシーを守る)



防災・危機管理に関すること

- 市民重視) 市民の救助を確実にできる防災拠点に(43%)
- 市民追加) 避難スペース・備蓄倉庫(35)
- 職員必要) 災害時の拠点機能(12)

- ・災害拠点として、水や食糧の備蓄倉庫が必要
- ・災害拠点として、庁舎周辺のスペース確保が必要
- ・地震に強い建物

快適・環境に関すること

- 市民不満) 窓口・相談室のプライバシー(12%)
- 職員必要) 窓口・相談室のプライバシー(21)
- 市民重視) 高齢者・障がい者への配慮を(25)
- 職員必要) 高齢者・障がい者への配慮(23)

市民サービスなどに関すること

- 市民不満) 休憩できる場所が不足(19%)
- 市民不満) トイレの場所が不明(16)
- 市民不満) 待合スペースや通路が狭い(15)

- 市民追加) ATM(20%)
- 市民追加) コンビニ・売店(19)
- 市民追加) 多目的トイレ(17)
- 市民追加) 屋外憩いスペース(14)
- 市民追加) 市民交流スペース(12)
- 市民追加) 飲食スペース(12)
- 市民追加) 喫茶コーナー(12)
- 市民追加) 展示など多目的空間(12)
- 市民追加) 観光インフォメーション(11)
- 市民追加) 子育て支援スペース(10)

- 職員必要) コンビニ・売店・ATM(34%)
- 職員必要) 市民交流スペース(17)
- 職員必要) 飲食・喫茶コーナー(21)
- 職員必要) 展示など多目的空間(10)
- 職員必要) 待合スペース(12)
- 職員必要) 子育て支援スペース(12)

- ・売店以外の飲食店などがあって、くつろげるスペース
- ・自動販売機、売店 ・喫煙できるスペース
- ・誰でも利用可能な食堂又はレストランの様な飲食機能
- ・柏崎コミュニティ放送(FMピッカラ) ・郵便局
- ・市民が利用できる食堂、売店、カフェ

- 市民追加) 必要最小限の機能でよい(19%)

【交流機能】

- ・市民大ホールまたはアリーナ ・料理教室など習い事のスペース
- ・道の駅を併設 ・軽い運動施設
- ・市外、県外から来られる方にアピール出来るような施設
- ・個展開催のスペース ・小学生が遊べる屋内スペース
- ・親子連れや高齢者が、休憩したり遊べたりできる施設
- ・屋根付きの子どもの遊び場 ・ランニングやウォーキングができるコース

【その他の機能】

- ・缶、ペットボトル等資源物をいつでも出せるスペース
- ・軽く仮眠が出来るスペースまたは個室
- ・来庁者が利用できるパソコンの設置
- ・古着回収容器の設置
- ・切手、証紙、指定ゴミ袋、粗大ゴミ券等の専門売店

- ・自然光がたくさん入る明るい庁舎
- ・緑のある公園 ・木を活かしたあたたかく、やわらかい雰囲気
- ・入口のホールにエレベーターを設置

3. 基本理念・基本方針

(1) 新庁舎の基本理念（案）

- 市役所庁舎は行政運営に必要不可欠な場所である。一方で市民からみた市役所庁舎は、様々な期待を持って見られる存在でもある。このため建設にあたっての基本的な庁舎の理念は、新庁舎の性格や特性などの方向性を示すことにもつながる、市民の期待感を表現するものであることが適切である。
- 市民アンケートの自由意見には、『市民のことを考えた庁舎に期待』、『柏崎の活性化の原動力として期待』などがあり、その期待感をうかがうことができた。
- 以上のことを踏まえ、次の3項目を基本理念とする。

新庁舎の基本理念(案)

- ①市民が安心して暮らせるよりどころとなる庁舎
- ②さらなる未来をめざす柏崎市のシンボルとなる庁舎
- ③協働によるまちづくりの拠点となる庁舎

①市民が安心して暮らせるよりどころとなる庁舎

市民が来庁して様々な行政サービスを受けるだけでなく、市民生活を支える活動が行われている場であることから、全ての市民にとってのよりどころとなるものである。また災害などに対する危機管理センターでもあり、安心して市民が日常を送るための場であることが、庁舎のもっとも重要な役割と考えられる。

②さらなる未来をめざす柏崎のシンボルとなる庁舎

持続可能なまちとして、未来に向けて存在し続ける柏崎であることが重要である。庁舎は、地域全体でそのような取組を進めるための場、あるいはそれをリードしていくような場であることが求められる。

③協働によるまちづくりの拠点となる庁舎

市民力、地域力を基礎において、行政だけでなく市民・地域や企業・団体等が連携、協働してまちづくりを進めていく場として、庁舎は存在する必要がある。

(2) 新庁舎建設の基本方針（案）

- 新庁舎建設の基本方針の設定にあたっては、市民アンケートに記載されている新庁舎に望む姿・性能要件や、配慮すべき事項を踏まえるものとする。
- また、建設の基本方針は、【1. 市民】、【2. 都市環境】、【3. 建築物】という3つの視点で設定する。

【1. 市民】

①市民にとってわかりやすく利用しやすい庁舎

市民アンケート調査では、窓口での手続きが楽にできる、行きたい窓口や部署がわかりやすい配置という回答が極めて多く、また高齢者や障害者などへの配慮という回答も多かった。市民にとってもっとも頻度の高い庁舎との接点は、各種の手続きや相談などで来庁することであり、その利便性や快適性を高めるために窓口機能の充実・強化やユニバーサルデザインの採用などが重要である。

②市民がふれあい交流する庁舎

市民アンケート調査で庁舎に必要とされる機能や施設について、憩いの場や交流や語らいの場、情報関連の施設などへの要望が多いことから、単なる行政機能に限定されない公共空間を庁舎に期待しているものと考えられる。またこのような場が提供されることにより、庁舎がより市民に身近な施設として評価され、ひいてはまちの賑わいの一助となりうるものであり、市民の多様な活動を可能とする交流機能の必要性は高い。

【2. 都市環境】

③中心市街地活性化の核となる庁舎

庁舎が柏崎駅の近傍に移転立地することから、文化会館アルフォーレなどと一体となって中心市街地活性化の核となるような庁舎であることが期待される。市民や市外からの来訪者が集まりやすい環境や、その利便性の向上など立地特性を反映した工夫が必要である。

④周辺環境と調和のとれた庁舎

庁舎は、柏崎市の顔となる建築物であり、市民に親しまれ個性がある庁舎であることが望ましい。また隣接する文化会館アルフォーレなど周辺の都市景観や環境と調和し、地区全体の魅力を高めていくようなデザインであることが期待される。

【3. 建築物】

⑤高い防災機能を備えた庁舎

庁舎は、大規模災害など非常時に市民を守る拠点であり、また日常的にも安全な市民生活が営まれるよう支援していく役割を担っている。このため、庁舎は高い防災性を持ち、災害時においても円滑な対応が可能であること、さらには、それらを実現するための災害対応機能を持つことが重要である。

⑥地球環境の保全に配慮した庁舎

地球温暖化対策を積極的に推進することが肝要であり、新庁舎においては、省エネルギーや自然エネルギーの活用、導入設備の高効率化をはじめ種々の工夫をすることで、柏崎市のモデルともなりうることを望ましい。

⑦機能的かつ維持管理が容易な庁舎

より効率的・機能的な行政運営ができ、また施設の維持管理が容易であるような庁舎であることにより、様々な経費の削減を実現し、行政経営に負担をかけないことが望ましい。

⑧変化に柔軟に対応できる庁舎

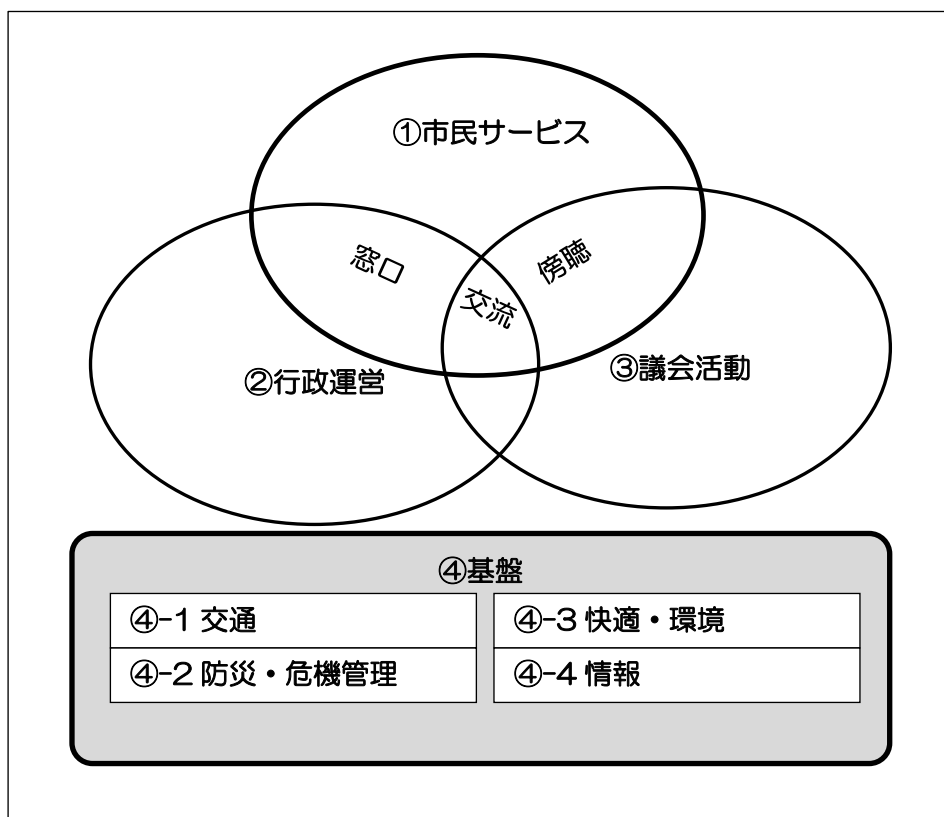
人口減少を始めとする社会・経済の変化や市民ニーズの変化などを受けて、機能の構成等を柔軟に変更できるような庁舎とする。

<参考：他都市の事例>

都市名	人口	コンセプト	
桶川市	7.4万人	●基本理念	市民と共に絆を育む「安全・安心」な新庁舎建設
		●整備方針	①防災拠点となる安全な庁舎、②市民が利用しやすい人にやさしい庁舎、③市民に開かれた庁舎、④環境にやさしい庁舎、⑤将来の変化に対応できる庁舎
飯田市	10.5万人	●基本理念	市民に親しまれ、人にも環境にもやさしい、安全安心な、「まちづくり」の拠点となる庁舎
		●整備の基本方針	①地方分権時代にふさわしい行政拠点の形成、②市民参加と協働を推進する拠点の形成、③市民に開かれた議会機能の確保、④市民の暮らしを守る防災・復興の本部拠点の機能、⑤少子高齢化社会などに対応した人にやさしい空間の形成、⑥高度情報社会への対応、⑦人にも環境にも配慮し、経済性に優れた拠点の形成、⑧市民に親しまれる庁舎への対応、⑨都市づくりの拠点の確保
新発田市	10.1万人	●基本方針	①市民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎、②人にやさしい庁舎、③環境と共生し、周辺と調和した庁舎、④市民サービス、事務効率の向上を目指した機能的な庁舎、⑤市民協働の拠点となる庁舎、⑥将来の行政需要にも柔軟に対応できる庁舎、⑦無駄を省いた経済的な庁舎
燕市	8.2万人	●整備の基本方針	①無駄を省いたスリムな庁舎、②あらゆる人にやさしい、安全・安心な庁舎、③住民自治の拠点となる、親しまれる庁舎、④環境にやさしく、周辺環境と調和した庁舎
		●施設整備の基本的な考え方	経済性、安全性、環境性、市民性
佐渡市	6.3万人	●整備の基本方針	①安心で安全、かつ市民の暮らしを支えるための庁舎、②市民に開かれた利便性の高い庁舎、③簡素で環境にやさしい庁舎、④現在の本庁舎及び敷地を利用した庁舎

(3) 新庁舎の基本機能（案）

○市役所庁舎を構成する基本機能は、市民サービス、行政運営、議会活動に関わる様々な機能と、それを支える基盤機能からなる以下の図のような構成が想定される。



①市民サービス：

構成要素—市民がふれあい交流する機能、市民利便機能、市民活動支援機能

②行政運営：

構成要素— 窓口機能、事務機能、運営管理機能

③議会活動：

構成要素— 議会機能、事務局

④基盤：

-1 交通：

構成要素— 駐車場、駐輪場、駅アクセス、バス停

-2 防災・危機管理：

構成要素— 日常対応機能、非常時対応機能、復旧時対応機能

-3 快適・環境：

構成要素— 環境配慮機能、ユニバーサルデザイン、緑化、冬期対策

-4 情報：

構成要素— 市民向け情報発信、来訪者・市外向け情報発信

各機能の内容については
次回委員会で検討

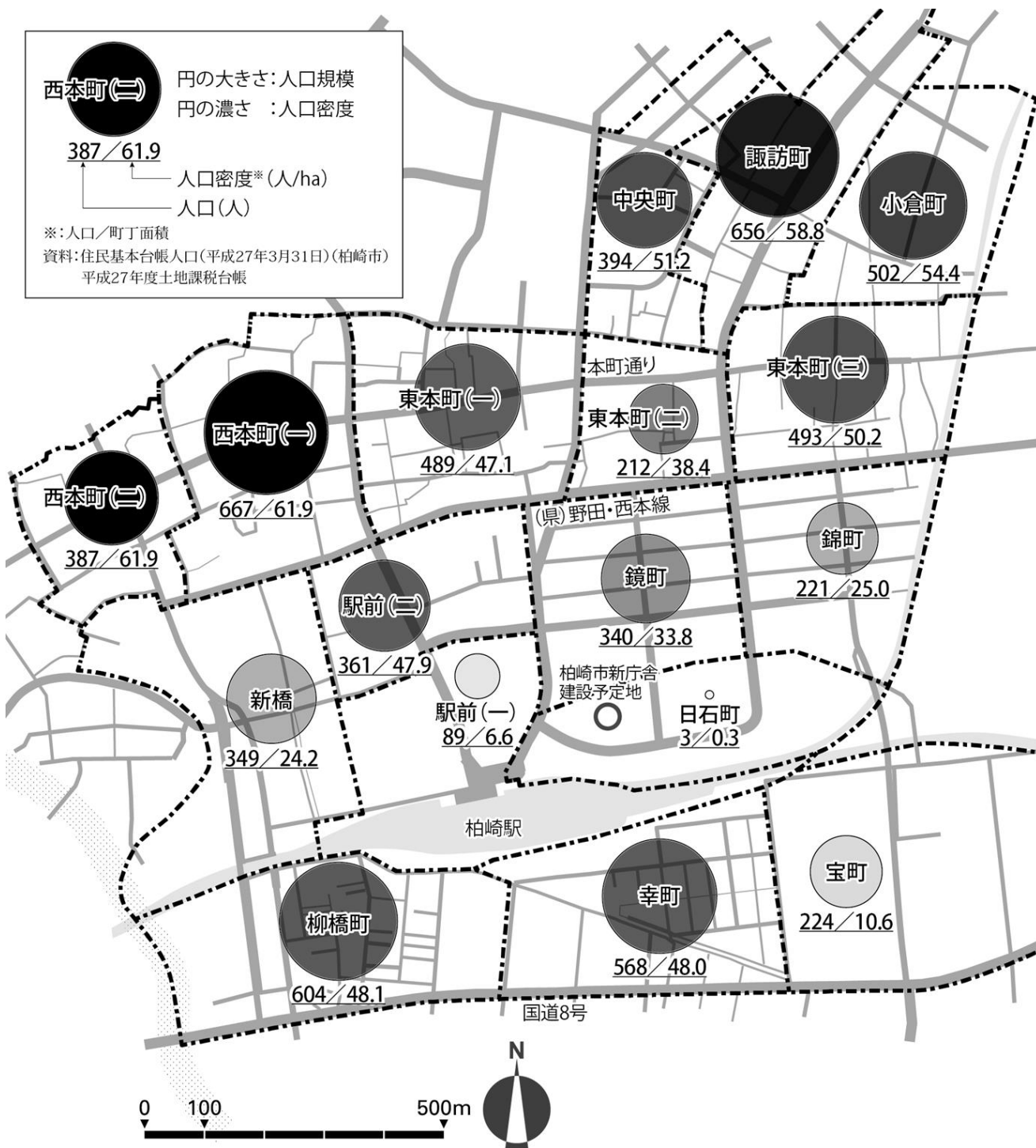
4. 周辺地域（中心的市街地）の状況（補足）

(1) 町丁別の人口および、グロス人口密度（平成27年3月現在）

○人口が多いのは、西本町1丁目や諏訪町である。

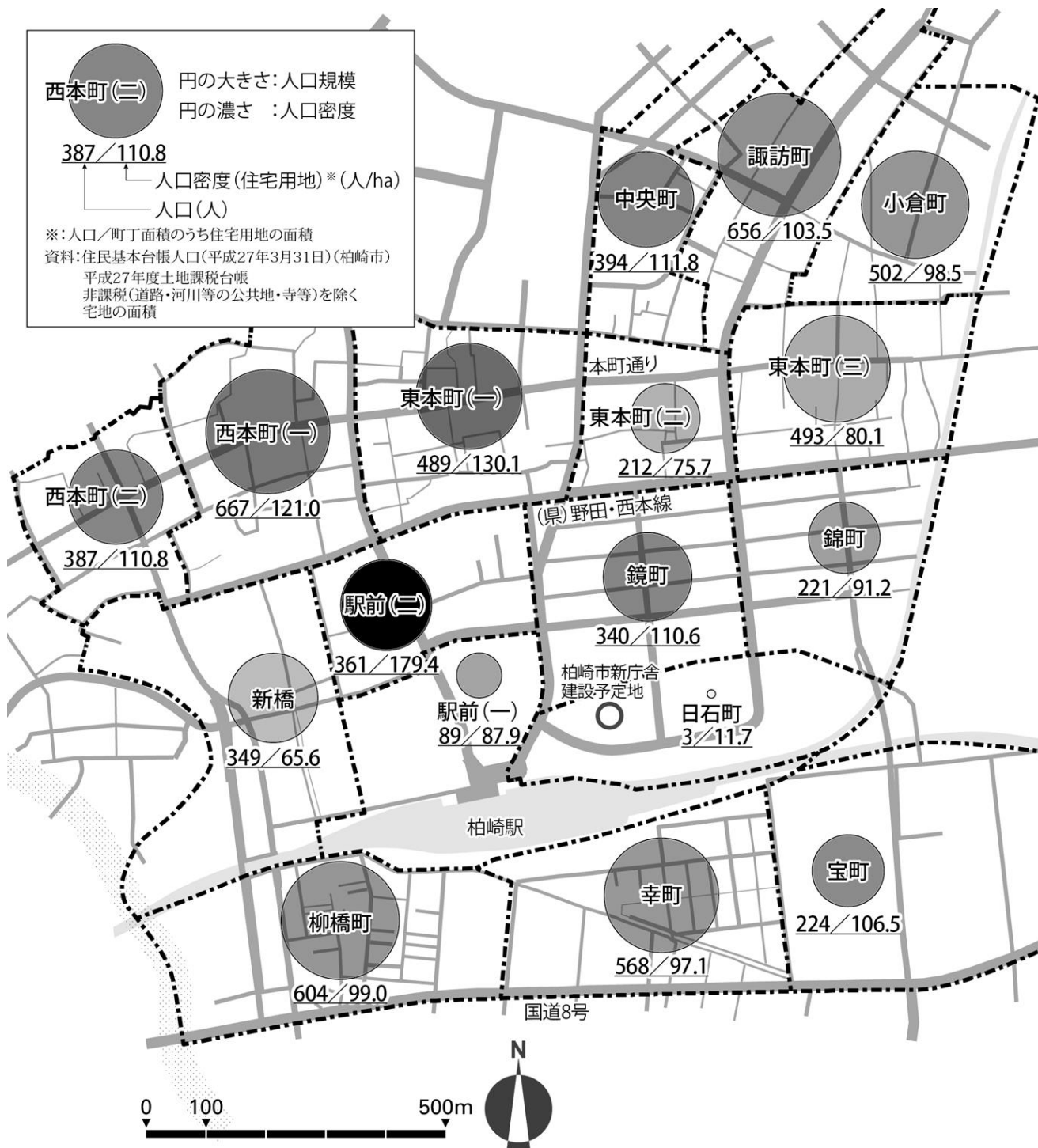
○グロス人口密度(人口÷町丁全体面積)が高いのは、西本町1・2丁目や諏訪町である。

○駅に近い町丁は、比較的人口は少なく密度は低い。



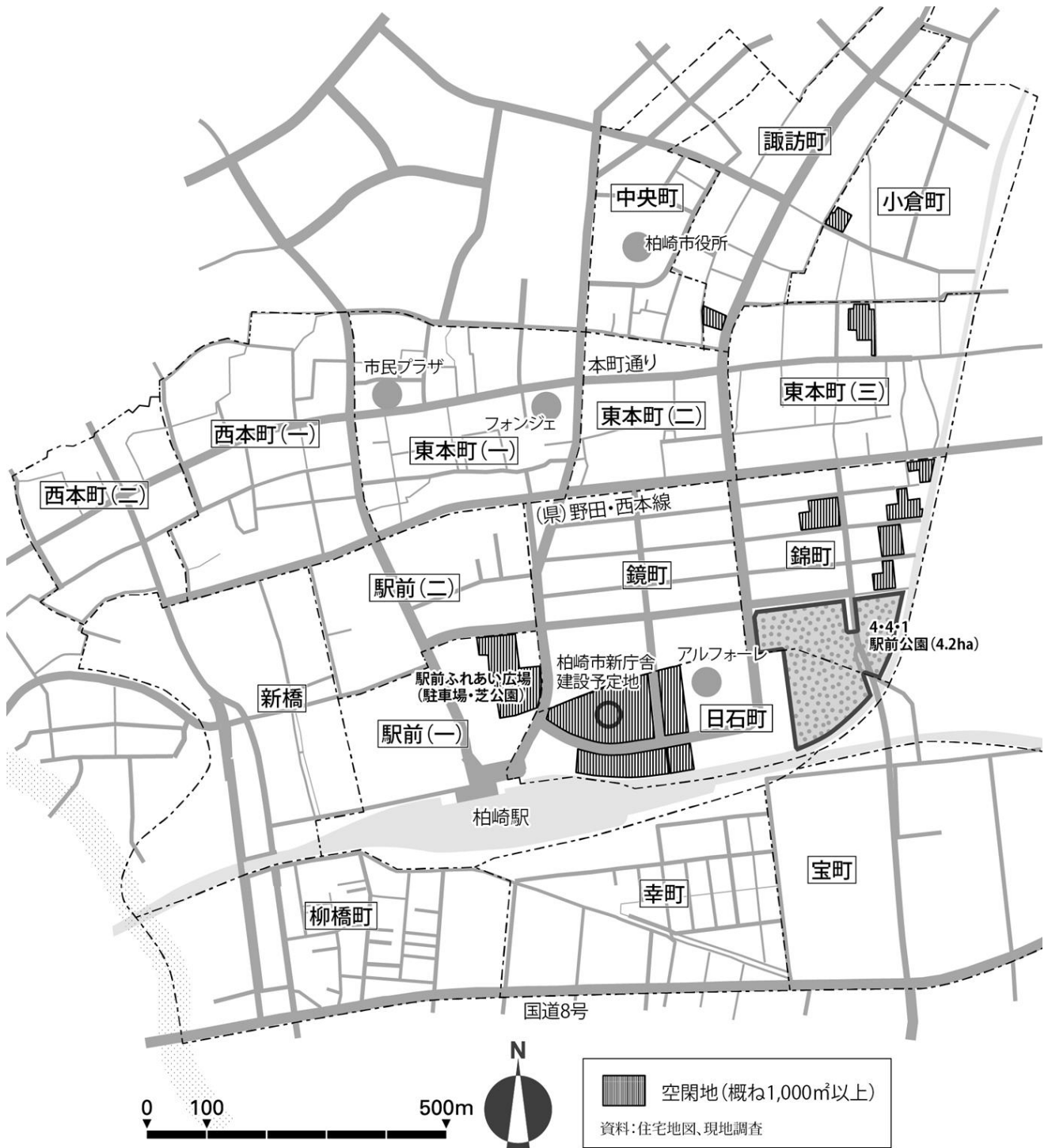
(2) 町丁別の人口および、ネット人口密度（平成27年3月現在）

- 人口が多いのは、西本町1丁目や諏訪町である。
- ネット人口密度(人口÷住宅用地)が最も高いのは、駅前2丁目である。
- 住宅用地ヘクタールあたり100人以上は順に、駅前2丁目、東本町1丁目、西本町1丁目、中央町、西本町2丁目、鏡町、宝町、諏訪町である。



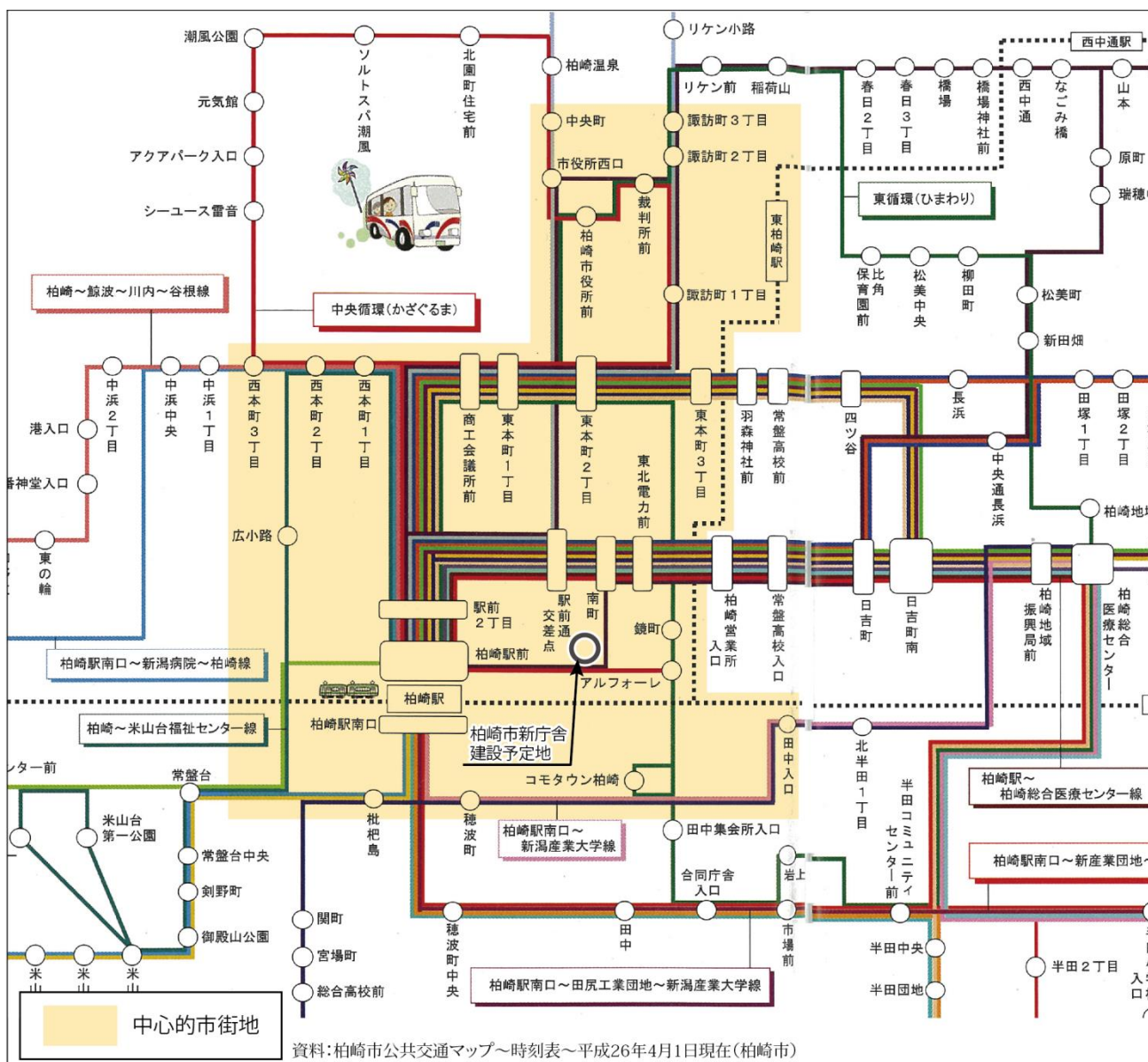
(3) 空閑地 (概ね1,000㎡以上)

○空閑地は、新庁舎建設予定地周辺に目立つ。



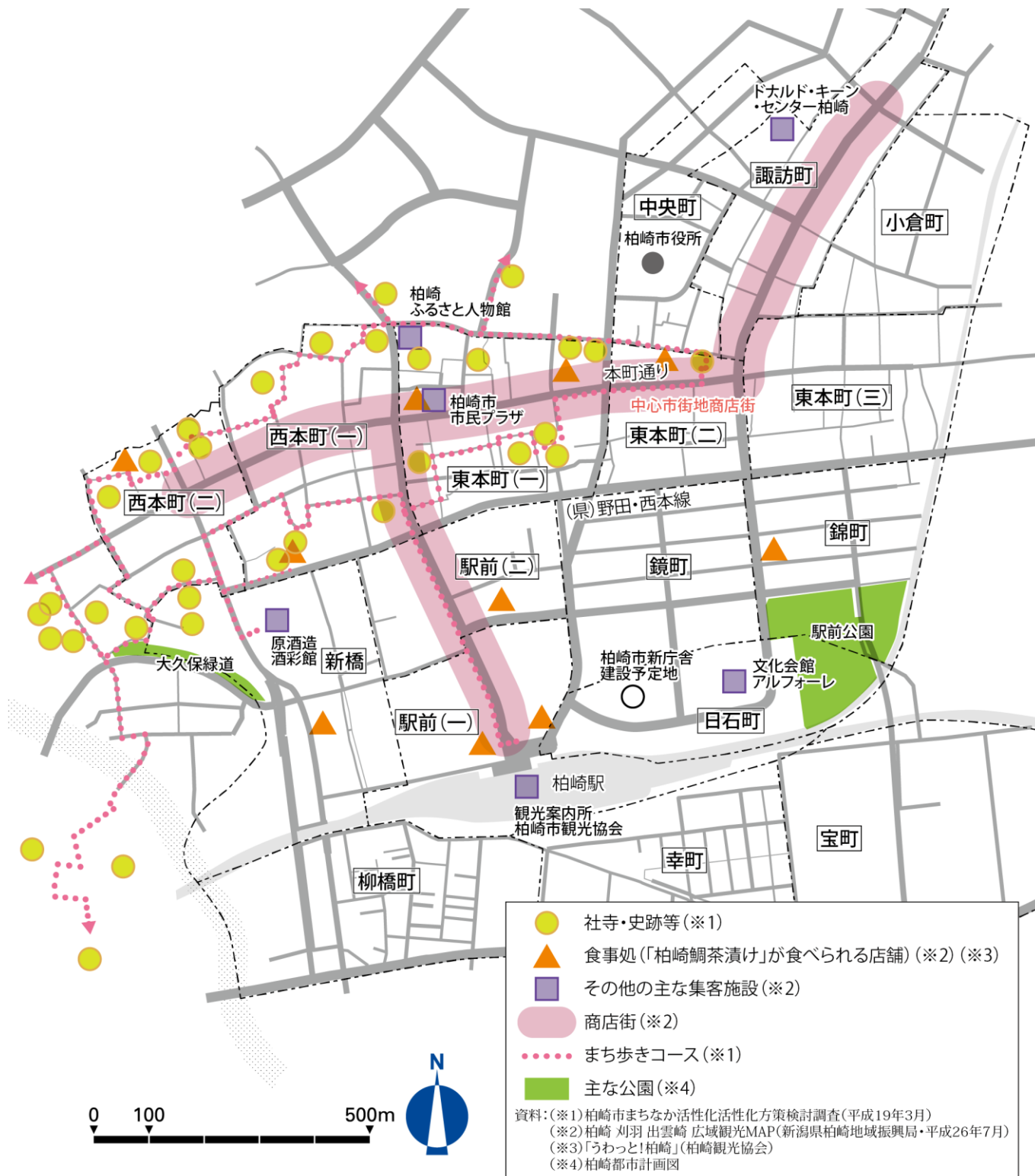
(4) 周辺のバス交通の状況

○柏崎駅に集中している。



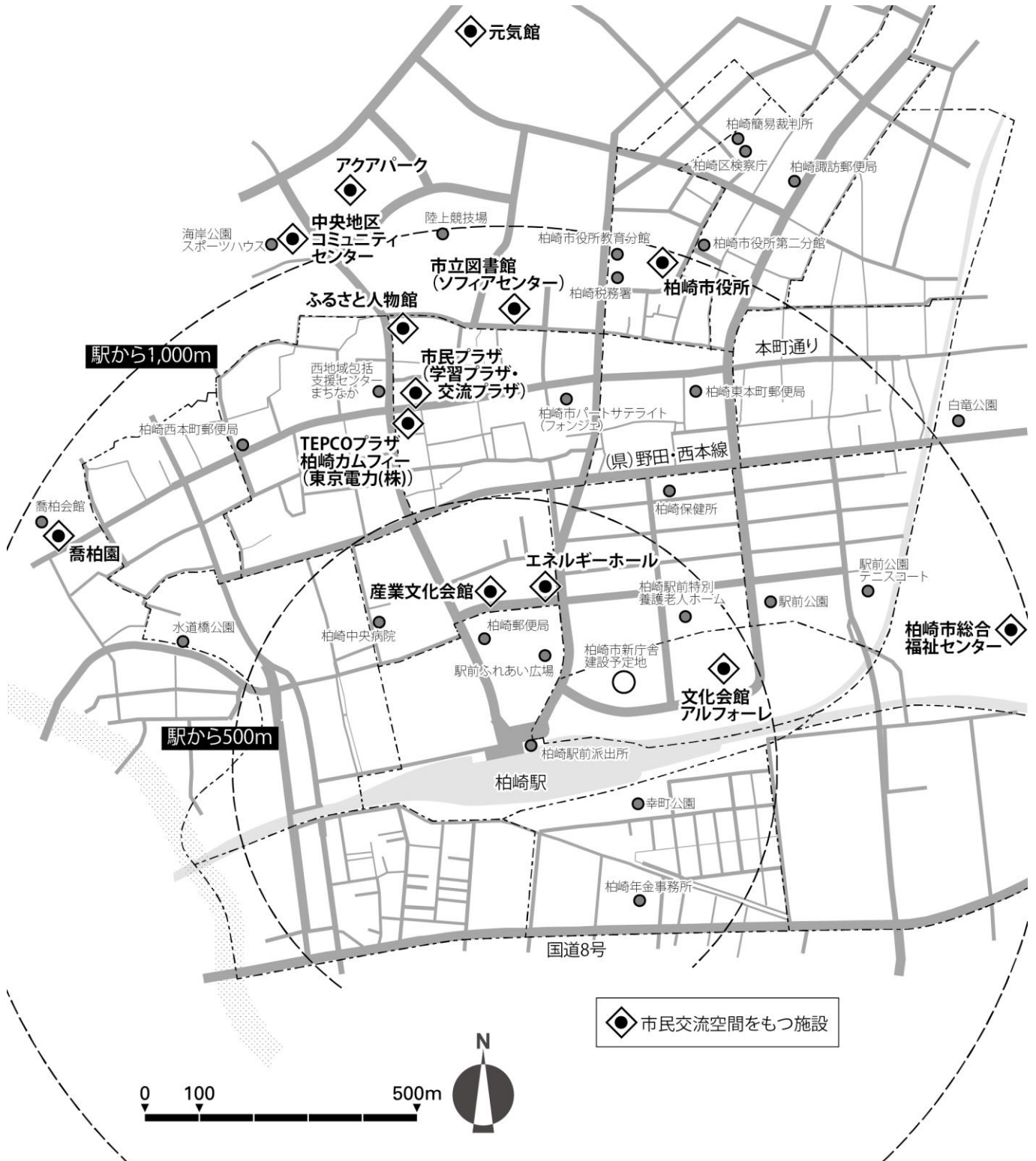
(5) 魅力施設・魅力空間

- 柏崎市まちなか活性化方策検討調査(平成19年3月)では、社寺・史跡を活かしたまち歩きコースが提案されている。
- 柏崎駅構内に観光案内所がある。



(6) 周辺において、市民交流空間をもつ施設

○アルフォーレ、エネルギーホール、市民プラザなど多くある。



(7) 周辺において、ランチを提供する店舗

○商店街に多い。駅前は少ない。

○昼食時におおむね30人以上が入店できる店舗は、国道8号線沿いにみられるが、駅の北側ではみられない。(居酒屋などで、入店できる空間は持ち合わせているが、態勢を採っていない店はある)

